

湯沢学園の学力向上の取組について

1 子どもたちの生活実態の周知・発信

- 「広報ゆざわ」1月10日号に、「湯沢町の子どもたちの生活実態」を掲載し、ゲームやインターネット、メールなどのメディアに接する時間が多く、家庭学習時間の不足につながっている実態を周知した。(10月31日の『湯沢町教育フォーラム』で公表した内容と同じ内容)

【別紙】

2 メディア規制のための啓発

- 湯沢町PTA連絡協議会が主管して、「メディアとインターネット利用のルール(案)」を作成・検討中。4月のPTA総会で決議する予定。
 - ・「湯沢学園 メディアとインターネット利用のルール」(保護者向け)
 - ・「湯沢学園 メディアとインターネット利用のルール」
(前期：1～4学年向け、中期：5～7学年向け、後期：8～9学年向け)

3 小・中学校の具体的な学力向上策

<小学校>

- 「学習リーフレット」を活用して、「聞く・話す・書く」について継続的に指導するとともに、家庭学習の習慣化を図る。【別紙】
- 毎月のチャレンジテスト(漢字・計算)の実施→合格するまで再テスト
- 朝活動の充実
 - ・ 月曜日：朝読書
 - ・ 火・金曜日：計算力アップ
 - ・ 木・朝会のない水曜日：漢字力アップ ※ 級外職員も入って個別指導を行う。
- 毎日、家庭学習の課題を出し、翌日点検しているが、その指導を徹底する。
- Web配信問題の活用
 - ・ 落ち込みが予想される問題の把握と重点指導、実施して落ち込んだ問題に対する補充指導、確認問題での結果確認(管理職が確認して声がけ)
- 学期1回のGK(学力・健康)アップ週間の設定、学校保健委員会や町P連研修会なども活用した児童・保護者への働きかけの強化

<中学校>

- 「学習リーフレット」を活用して、学習規律の確立を図るとともに、家庭学習の習慣化に努める。
- 5教科(国・数・社・理・英)については、毎授業時に家庭学習の課題を出し、次の授業時にノート点検や小テストを実施する体制を徹底する。
- 10/1から配置されている学力向上加配(講師)を活用し、数学で単元により少人数指導、TT指導、習熟度別指導を行うほか、国語、数学で、Web配信問題で落ち込みの大きい過去問題について重点的に指導する。
 - ・ 10点満点として採点し、5点以下の生徒には、後日の放課後に補習を行う。
- 県の学力向上専門監事業を活用して、8年生を対象に今年度2回の学力診断問題を実施し、28年度の全国学力・学習状況調査に向けて、落ち込む領域の補充指導を行う。
- 5教科の基礎テスト(学期1回ずつ実施)の不合格者(80点未満)に対し、放課後の補充指導を行って1週間後に再テストする。
- 定期テスト後、誤答の多かった問題に対して解説した後、類題を解かせて補充指導を行う。

学校は、学ぶところです。先生や友だちといっしょに考えたり感じたりしながら、たくさん
さんのことを知り、分かり、できるようになっていきます。よりよく学ぶためには、よい
学習習慣を身に付けることが大切です。この「学習リーフレット」では、湯沢町の子ども
たちと先生がよりよく学ぶための目標と作戦を示しました。このアドバイスをもとに、学
校でも家庭でも進んで学ぶ湯沢っ子になりましょう。

学びの約束



おいしせい=じゅぎょうに集中



- 「足は・ペタ」 …足のうらをゆかにつけよう。
- 「せなかは・ピン」 …せなかをのばす。
- 「おなかとせなかに …つくえとおなかの間、せなかと
グー1つ」 いすの間を少しはなそう。
- 「紙をおさえて」 …えんぴつを持たない手で、ノートをおさえよう。

学習用具



- すべての持ち物に名前を書く。
- 必要な物だけを持って来る。
- 筆入れには、次の物をじゅんびする。

- 家でけずったえんぴつ
(Bか2B・4~5本・かざりなし)
- よく消える消しゴム
(白・四角・においなし)
- 赤えんぴつ(赤ペン) ○ネームペン
- ミニじょうぎ(15~18cm)

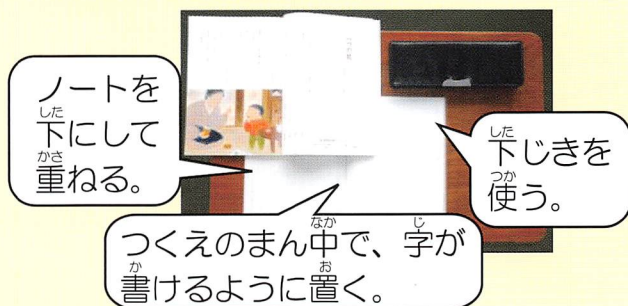


- 用具のじゅんびは、前の日にする。

ノートの使い方



- えんぴつを正しく持つ。
- 線を引くときは、じょうぎを使う。
- つくえの上を整理する。

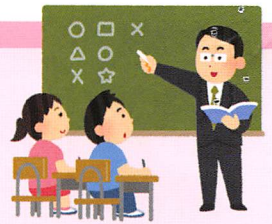


使うノート

	1年	2年	3・4年
国語	21mmマス	15mmマス	10mmマス
漢字	50字~	84字~	91字~
算数	18mmマス	12mmマス	10mmマス
社会・理科			10mmマス

※ 2冊目以降は、担任の先生の指示による。

^き ^{ちから} ^{しせい} ^{しんけん} ^め **聞く力** よい姿勢と真剣な目



はなし ないよう はんのう き
 話の内容に反応しながら聞く

7 10 12 1 3



しせい
よい姿勢

しゅうちゅうりよく
集中力

しんけん め
真剣な目

まな い よく
学ぶ意欲



はな て からだ む め み き
 話し手に体を向け、目を見て聞く

7 10 12 1 3



^か ^{ちから} ^{しせい} ^{もじ} **書く力** よい姿勢でいい文字



した じょうぎ つか
下じきと定規を使う

さゆう て は じ い ち
左右の手は八の字の位置

も じ おお か
文字は大きくていいに書く

けつろん か か
結論を書いてからわけを書く

す え ひよう つか か
図・絵・表などを使って書く

かんが わ
はじめの考え、分かったこと、

かえ か
ふり返りを書く

ぶん ぎょう い じょう
1分1行以上

7 10 12 1 3

ぶん ぎょう い じょう
めざせ1分2行以上

7 10 12 1 3

④ くらべ方を考えよう

○ こみぐあい

	マット数(まい)	人数(人)
ア	2	12
イ	3	12
ウ	3	15

⑥⑦⑧のこみぐあいを④のようにくらべたらよいが、言葉、式、図で説明しよう。

〈自分の考え〉

まず、⑦の1枚のマットに何人の、っているかを求めると、 $12 \div 2 = 6$ 人です。⑧のマットの1枚あたりの人数を求めると $15 \div 3 = 5$ 人です。なので、⑦がこんでいると思います。

まとめ

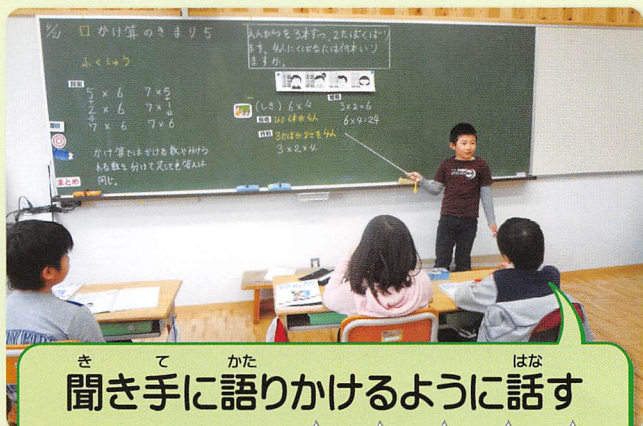
⑦... $12 \div 2 = 6$ (マット1まいあたり)
 ⑧... $15 \div 3 = 5$

〈ふり返り〉☆

あたしは、 $2 \div 12$ 、 $3 \div 15$ の計算が、毛描さんの説明をきいてよく分かりました。★

おもしろいね
 ありがとう
 あいご。

はな ちから 話す力 立つ位置と聞き手の目



き て かた はな
聞き手に語りかけるように話す

7 10 12 1 3

き て め み はな
聞き手の目を見て話す

き て はん のう たし
聞き手の反応も確かめて

き て め み いち はな
聞き手の目が見える位置で話す

7 10 12 1 3



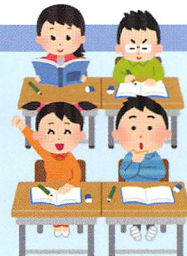
こ び
語尾がポイント

「ですよね!」

「でしょ!」



はな ちから 話す力 パワーアップ



いつでも どこでも 誰にでも 堂々と話す

レベル1

けつ ろん はな
結論とわけを話す

びよう いじょう
15秒以上

7 10 12 1 3

レベル2

とも だち かんが くら はな
友達の考えと比べて話す

びよう いじょう
30秒以上

7 10 12 1 3

レベル3

じ ぶん かんが へん か はな
自分の考えの変化を話す

ぶん いじょう
1分以上

7 10 12 1 3



とつ ぜん き
突然聞かれてもサツと手が上がる!

7 10 12 1 3

家庭学習の約束

学校で学んだことをよりよく身に付けるためには、くり返し練習することが大切です。
宿題だけでなく、予習や復習など、自分で計画し、進んで取り組むようにしましょう。

家庭学習の内容

- 宿題
- 自主学習

予習や復習

興味・関心のあることがらに
進んで挑戦する学習



時間の目安

- 小学生：学年×10分以上
- 中学生：1時間＋学年×10分以上

取り組み方

- 自分から進んで取り組みましょう。
- 時間を決めて取り組みましょう。
- テレビや音楽を消して取り組みましょう。
- 学校が休みの日も取り組みましょう。

1年生 10分以上、2年生 20分以上、3年生 30分以上、4年生 40分以上

音読…教科書を声に出して読む。

視写…教科書の物語や詩をノートに写す。

ドリル…漢字・計算を毎日くり返し練習する。

作文…毎日のできごとを書く。

書き取り…ひらがな・カタカナ・漢字・ローマ字練習など手本を見て正しく
ていねいに書く。

辞書…教科書に出てきた言葉の意味を調べる。

地図…地図記号や県内の市町村、47都道府県などを調べる。

宿題だけでなく、いろいろ工夫して、勉強しましょう。

自分の家庭学習をふりかえろう。

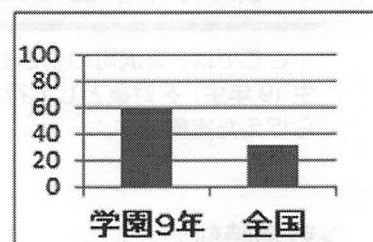
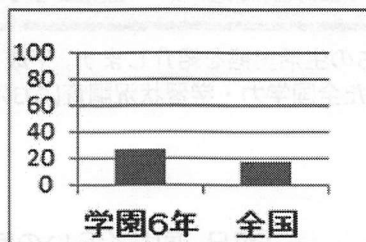
	(はい○ もう少し△ いいえ×)				
	／	／	／	／	／
① 毎日家庭学習をしている。					
② 言われる前に自分から取り組んでいる。					
③ 学習する時間を決めて取り組んでいる。					
④ テレビや音楽を消して取り組んでいる。					
⑤ 目安の時間をクリアしている。					

がっこう 学校	ねん 年	くみ 組	ばん 番	しめい 氏名
------------	---------	---------	---------	-----------

▷携帯電話・メール・インターネットの時間

「1日1時間以上、携帯電話やメール、インターネットをする。」と回答した湯沢町の6年生の割合は、全国より9.4ポイント高く、26.3%。6年生の4分の1以上が、毎日1時間以上、メールやインターネットをしていることになります。さらに、「1日2時間以上、携帯電話やメール、インターネットをする。」と回答した9年生の割合は、全国より29.1ポイントも高く、60.4%に上ります。9年生の6割以上が、毎日2時間以上、携帯電話やメール、インターネットで時間を費やしていることになります。

「1日1時間あるいは2時間以上、携帯電話やメール、インターネットをする。」と答えた子どもの割合



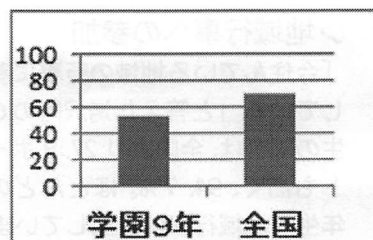
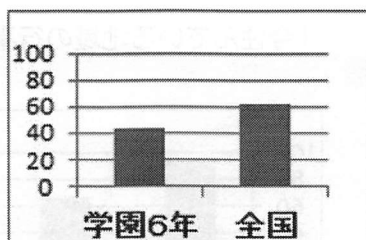
「1日2時間以上、携帯電話やメール、インターネットをする。」と回答した9年生の割合は、全国より29.1ポイント高くなっています。9年生の6割以上にあたります。

▷家庭学習時間

これまでに述べてきたような家庭での時間の使い方の結果が家庭学習時間によく反映されています。

「学校の授業時間以外に、ふだん、1日1時間以上勉強をする。」と答えた湯沢町の6年生の割合は43.9%で、全国より18.8ポイント低くなっています。また、9年生の割合は52.8%で、全国より16.2ポイント低くなっています。

「学校の授業時間以外に、ふだん、1日1時間以上勉強をする。」と答えた子どもの割合



こうした湯沢町の子どもたちの生活実態や、ネット・メディアによる健康への影響、人的・金銭的被害の危険性等が社会問題化しつつある状況を受け、湯沢町PTA連絡協議会では、去る12月2日に平成27年度の町P連研究集会を開催しました。研究集会では「ネット・メディアの害から子どもたちを守るために保護者ができることを考える—保護者主導によるネット・メディアに関する湯沢学園の統一ルールづくり—」を主題として、講演会やグループワークを行いました。現在、実施中の保護者アンケート調査の集計結果をもとにルールの検討に入ります。

町教育委員会としても、湯沢小学校、湯沢中学校及び各保育園の職員並びに保護者、地域の方々と連携しながら、メディアとの付き合い方を中心に子どもたちの生活習慣を改善し、学力向上につなげてまいります。

子育て支援情報



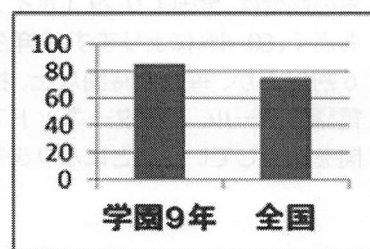
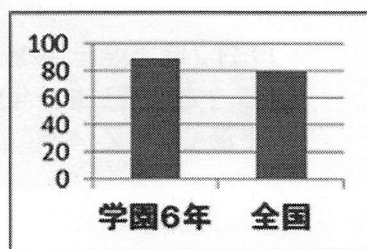
湯沢町の子どもたちの生活実態 —全国学力・学習状況調査から—

ここでは、湯沢町の子どもたちの生活実態を紹介します。平成27年4月に、小学6年生と中学3年生（9年生）を対象として行われた全国学力・学習状況調査における「児童生徒質問紙調査」の結果から捉えた実態です。

▶就寝時刻

「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と答えた湯沢町の6年生の割合は、全国より10ポイント高く、89.5%。9年生の割合は、全国より9.7ポイント高く、84.9%。また、「朝食を毎日食べている」と答えた6年生と9年生の割合は、いずれも0.9ポイント全国を上回り、生活習慣の基礎は確立されていると言えます。

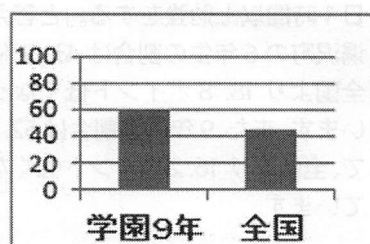
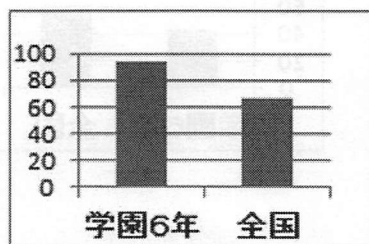
「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と答えた子どもの割合



▶地域行事への参加

「今住んでいる地域の行事に参加している。」と答えた湯沢町の6年生の割合は、全国より27.8ポイントも高く、94.7%。ほとんどの6年生が地域行事に参加しています。9年生の割合も全国より13.7ポイント高く、58.5%。オール湯沢で、子どもたちを育てていただいていることの表れと言えます。

「今住んでいる地域の行事に参加している。」と答えた子どもの割合



▶テレビゲームの時間

「1日2時間以上、テレビゲームをする。」と回答した湯沢町の6年生の割合は、全国より11.9ポイント高く、42.1%。6年生の4割以上が、毎日2時間以上ゲームをしていることになります。また、9年生の割合は、全国より18.4ポイントも高く、54.7%に上ります。9年生の半数以上が、毎日2時間以上ゲームをしていることになります。

「1日2時間以上、テレビゲームをする。」と答えた子どもの割合

